SONY

3-224-725-08 (1)

カセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでもみられるところに必ず保管してください。

TCM-900

品　名　カセットコーダー
型　名　TCM-900
保証書　T11-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

安全のために

⚠警告

- 乾電池はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と−が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

ご注意

- 録りなおしのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

主な特長

- 再生スピードに加え、再生ピッチ(音の高さ)が調節できるDPC-Digital Pitch Control(デジタル音程調整)機能。
- 1秒〜48秒までのお好きな長さで、繰り返し再生できる **ICリピート**。単語やフレーズを復唱する英会話などの学習にたいへん便利です。
- テープの表裏を確かめずに早送り、巻き戻しができる**イージーFF/REW**付き、**録再オートリバース**。
- テープ速度を半分にしてテープを2倍の時間使える**録音時間2倍モード搭載***。
- 大音量でも音割れの少ない音声を再生できる**はっきりボイス機能**(スピーカー再生時)。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まる**VOR(自動音声録音スタート)機能**。
- テープカウンターや電池残量などを表示する**液晶ディスプレイ**。
- 録音状況に応じてマイクの感度を切り換えることができる**マイク感度スイッチ**。

* 本機の2倍モード(2.4cm/s)で録音したテープは2倍モードのないテープレコーダーでは正しく再生できません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

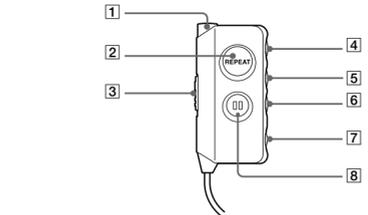
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

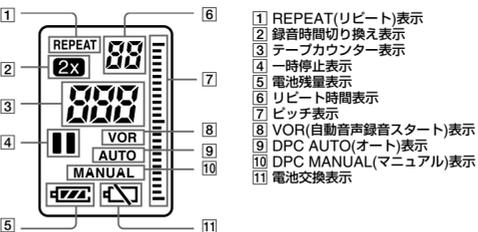
部品の保有期間について
当社ではカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

各部のなまえ

本体

1. イヤホンジャック
2. マイク(プラグインパワー)ジャック
3. 音量つまみ
4. 録音ランプ
5. ●録音ボタン
6. ■停止ボタン
7. ◀▶再生ボタン
8. 巻戻し/レビューボタン
9. 早送り/キューボタン
10. ◀反転▶スイッチ
11. リピートボタン
12. ❚❚一時停止ボタン
13. マイク感度切り換えスイッチ
14. VORスイッチ
15. フラットマイク
16. スピードコントロールつまみ
17. カウンターリセットボタン
18. ピッチコントロール+、−ボタン
19. リピート時間+、−ボタン
20. DPC切り換えスイッチ
21. 表示窓
22. 録音時間切り換えスイッチ
23. DC IN 3Vジャック
24. スピーカー

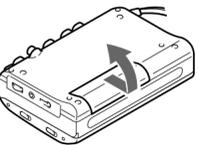
リモコン

1. ♫(イヤーレシーバー)ジャック
2. REPEAT(リピート)ボタン
3. HOLD(ホールド)スイッチ
   矢印の方向にずらしておくと、誤ってボタンが押されても動作しません。
4. SPEAKER(スピーカー)ボタン
   2秒以上押し続けると、リモコンをつないでいても、スピーカーから音が出ます。
5. IC REPEAT CUE(ICリピートキュー)ボタン
6. IC REPEAT REVIEW(ICリピート レビュー)ボタン
7. VOL(音量)つまみ
8. ❚❚(一時停止)ボタン

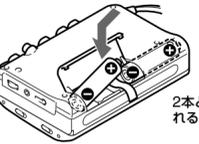
表示窓

1. REPEAT(リピート)表示
2. 録音時間切り換え表示
3. テープカウンター表示
4. 一時停止表示
5. 電池残量表示
6. リピート時間表示
7. ピッチ表示
8. VOR(自動音声録音スタート)表示
9. DPC AUTO(オート)表示
10. DPC MANUAL(マニュアル)表示
11. 電池交換表示

準備する

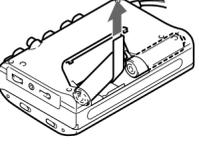
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

1 乾電池を入れる

①押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる

②単3形乾電池を2本入れる

2本とも⊕側を奥にして入れる

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

ご注意
新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは

電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のように取り付けてください。

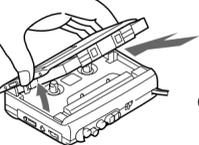
録音する

内蔵マイクですぐに録音できます。
録音にはノーマルテープ(TYPE Ⅰ)をお使いください。ハイポジション(TYPE Ⅱ)、メタル(TYPE Ⅳ)では正しく録音できないことがあります。

1 カセットを入れる

①手でふたを開ける

②テープのたるみをとってから、録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる

③ふたを閉める

2 録音時間を選ぶ

録音時間スイッチを「標準」または「2倍」に合わせる

標準(4.8cm/s): 通常の録音をするとき。「2倍」のときより良い音で録音できます。

2倍(2.4cm/s): テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめできません。(60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます)

3 マイク感度を選ぶ

マイク感度スイッチを「標準」または「口述」に合わせる。

録音の状態	マイク感度スイッチ
遠くの音や小さい音を録音する (例：会議を録音するとき)	標準
近くの音や大きい音を録音する (例：マイクを口元に近づけて録音するとき)	口述

4 VOR(自動音声録音スタート)機能を「切」にする

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR機能は「切」にしておいてください。VOR機能を使った録音については、「録音の便利な機能を使う」(裏面)をご覧ください。

VORスイッチを「切」にする

5 録音する

発信者の声をフラットマイクで明瞭に録音するために、本機を机などの固い面に水平に置いてください(Boundary effect 方式)。
おもて面から録音が始まり、うら面も続けて録音します(オートリバース)。うら面が終わると自動的に止まります。

録音ランプ

●録音ボタンを押す
◀▶再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。

録音中は、音の強弱に合わせて録音ランプの明るさが変わります。

操作	押すボタン
録音を止める	■停止
一時停止する	❚❚一時停止 表示窓に「❚❚」が点灯します。 解除する*には、もう一度❚❚一時停止を押す。 表示窓の「❚❚」が消灯します。
カセットを取り出す	■停止を押してから、手でふたを開ける。

* 一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

テープを聞く

内蔵スピーカーから音が聞こえます。
ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)をお使いください。

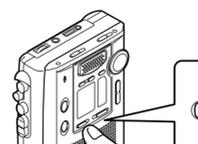
1 カセットを入れる

①手でふたを開ける

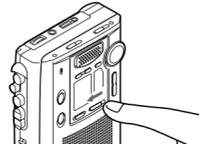
②テープのたるみをとってから、再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる

③ふたを閉める

2 「標準」または「2倍」を選ぶ

録音時間スイッチを、録音したときと同じ位置に合わせます。市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。

録音時間スイッチを「標準」または「2倍」に合わせる

3 DPCスイッチを「切」にする

ここでは通常の再生のしかたを説明します。DPC機能を使った再生については「再生スピードを調節する(DPC 機能)」(裏面)をご覧ください。

4 再生する

おもて面から再生が始まり、うら面も続けて再生します(オートリバース)。うら面が終わると自動的に止まります。

音量つまみ

①◀▶再生ボタンを押す

②音量つまみで音量を調節する

テープ速度がおかしいときは、録音時間スイッチを確認してください。

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
テープを止める	■停止
一時停止する	❚❚一時停止 表示窓に「❚❚」が点灯します。 解除する*には、もう一度❚❚一時停止を押す。 表示窓の「❚❚」が消灯します。
早送りする**	早送り/キュー
巻き戻す**	巻戻し/レビュー
音を聞きながら早送りする(キュー)	再生中に早送り/キューを押し続ける。
音を聞きながら巻き戻す(レビュー)	再生中に巻戻し/レビューを押し続ける。
再生面を変える	◀反転▶
カセットを取り出す	■停止を押してから、手でふたを開ける。

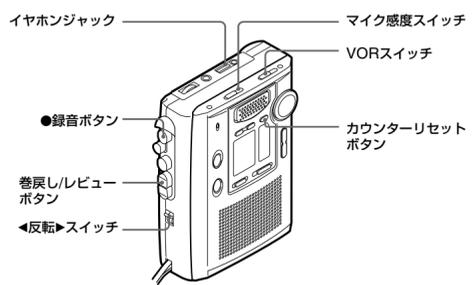
* 一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。
** 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急激に消耗するので、必ず■停止ボタンを押してください。

キュー／レビュー時のご注意

キュー／レビュー後、以下のように再生に戻らない場合があります。そのときは、いったん■停止ボタンを押してから、◀▶再生ボタンを押して、再生を始めてください。

- キュー／レビューをしてテープの端まで巻き取られたとき、ボタンから指を離しても再生にならない。
- 乾電池で使用中、キュー／レビュー後にボタンから指を離すと、電池交換表示が点灯して、再生にならない。

▶録音する一応用

録音の便利な機能を使う

録音する面を選ぶ

両面を続けて録音する

1 録音を始める面をふた側にしてカセットを入れます。
2 ◀反転▶スイッチが「おもて面」であることを確認します。
3 録音を始めます。
おもて面(ふた側の面)の録音が終わると、自動的にうら面(本体側の面)から録音が始まります。(ただし、おもて面からうら面に切り換わる間、数秒間録音がとぎれます。)うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

片面だけを録音する

1 録音をする面を本体側にしてカセットを入れます。
2 ◀反転▶スイッチを「うら面」にします。
3 録音を始めます。
録音はうら面から始まります。うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

ご注意
- 録音する面のツメが折れていないことを確認してください。
- 停止中にふたを開けるとテープの走行方向は自動的におもて面になります。再び操作すると、必ずおもて面を録音します。
- 録音中は◀反転▶スイッチは使えません。

テープカウンターを使う

録音を始める前に、カウンターリセットボタンを押してテープカウンターを「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。テープカウンターはおもて面を走行中は数字が増え、うら面を走行中は数字が減っていきます。

音がしたとき自動的に録音を始める(VOR機能)

VORスイッチを「入」にしておきます。
●録音ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間がはぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。
録音中にVORスイッチを「入」にすることもできます。

ご注意
- VOR機能は周囲の環境や使用条件に左右されます。状況に合わせてマイク感度スイッチを「標準」または「口述」にしてください。VORスイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「切」にしてください。

録音中の音を聞くには

付属のリモコン付きイヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。モニター音はリモコンの音量つまみで調節できます。録音される音の大きさは一定に保たれます。

後追い録音をする

再生中に●録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く(ワンタッチレビュー)

録音中に巻戻し/レビューボタンを押すとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

外部マイクや他の機器から録音する

状況に合わせてVOR機能もお使いいただけます。

ご注意 録音する前に
- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク(別売り)で録音する

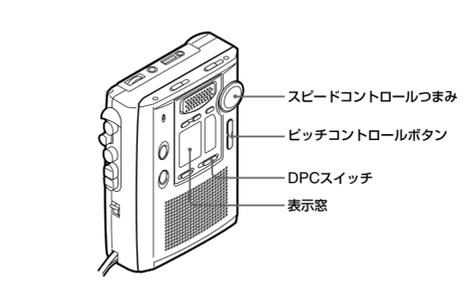
マイクジャックにプラグをしっかり差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

本機にカセットを入れ、●録音ボタンを押します。

他の機器から録音する

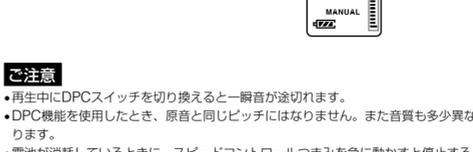
1 本機にカセットを入れます。
2 他の機器の録音する音を出し、聞きやすい音量にします。(テレビやラジオのREC OUTや📼ジャックなどから録音するときは、他機の音量を変えても録音には影響しません。)
3 本機の●録音ボタンを押します。

▶テープを聞く一応用

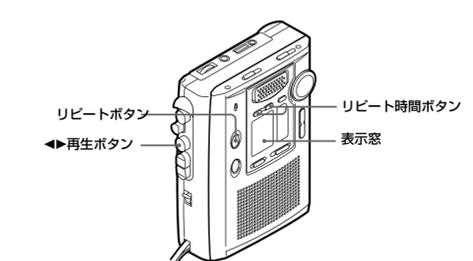
再生スピードを調節する(DPC機能)

再生速度に合わせてピッチを自動調整する

1 DPCスイッチを「オート」にします。
2 スピードコントロールつまみを調節します。
ゆっくり再生する：遅い 側
速く再生する：速い 側

再生音のピッチ(音の高さ)と再生速度を別々に調節する

1 DPCスイッチを「マニュアル」にします。
2 スピードコントロールつまみを調節します。
ゆっくり再生する：遅い 側
速く再生する：速い 側
3 ピッチコントロールボタンを押します。
音を低くする：－ボタン
音を高くする：＋ボタン
ピッチ表示が変わります。

ご注意
- 再生中にDPCスイッチを切り換えると一瞬音が途切れます。
- DPC機能を使用したとき、原音と同じピッチにはなりません。また音質も多少異なります。
- 電池が消耗しているときに、スピードコントロールつまみを急に動かすと停止することがあります。ゆっくり動かすか、電池を交換してください。

リピート再生する(ICリピート機能)

特定の部分をくり返し聞くことができます。くり返す長さ(リピート時間)は、1秒〜48秒の中から選べます。

1 表示窓を見ながら、リピート時間ボタンでリピート時間(1秒〜48秒)を決めます。
＋を押すと1秒ずつ増え、－を押すと1秒ずつ減ります。押し続けると、数字が速く変わります。
2 ◀▶再生ボタンを押して再生を始めます。
3 くり返したい部分の最後でリピートボタンを押します。指定した秒数だけ前に戻り、くり返し再生されます。

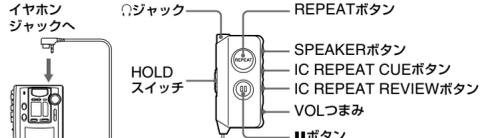
表示窓 REPEAT 03 リピート時間

操作	押すボタン
普通の再生に戻る	リピート
一時停止する	❚❚一時停止 表示窓に「❚❚」が点灯し、REPEATが点滅します。 解除するには、もう一度❚❚一時停止を押す。
リピート時間を変える	停止時にリピート時間+ または –

ご注意
- リピート再生時はテープ再生時と音質が多少異なります。
- リピートボタンは、テープを再生しているときに押してください。一時停止中にボタンを押しても、リピート再生にはなりません。
- リピート再生中にリピート時間+ または –ボタンを押すと、普通の再生に戻ります。
- 普通の再生を始めてからリピートボタンを押すまでの時間が指定したリピート時間より短い場合は、再生された分だけリピートします。
- 普通の再生中に一時停止した部分は無音部として、キュー/レビューした部分は早聞き音としてリピート再生されます。

リモコンでリピート再生する

付属のリモコンをつなぐと、リピート操作が簡単にできます。また、リピート部分の中で、キュー/レビューができます。

イヤホンジャックへ / ∩ジャック / HOLDスイッチ / REPEATボタン / SPEAKERボタン / IC REPEAT CUEボタン / IC REPEAT REVIEWボタン / VOLつまみ / ❚❚ボタン

1 付属のリモコンをイヤホンジャックにつなぎます。
2 HOLDスイッチを矢印と反対の方向にずらします。
3 スピーカーで聞くときは、リモコンのSPEAKERボタンを2秒以上押し続けて、スピーカーから音が出るようにします。
4 再生を始めます。
5 くり返したい部分の最後で、リモコンのREPEATボタンを押します。

操作	押すボタン
普通の再生に戻る	REPEAT
一時停止する	❚❚ 解除するには、もう一度一時停止を押す。
リピート部分を早送りする (ICリピート キュー)	IC REPEAT CUEを押し続ける。 キュー中、「ピー、ピー…」という確認音が鳴ります。 1秒間押していると、約3秒分進みます。
リピート部分を早戻しする (ICリピート レビュー)	IC REPEAT REVIEWを押し続ける。 レビュー中、「ピー、ピー…」という確認音が鳴ります。 1秒間押していると、約3秒分戻ります。
スピーカーから音を出す	SPEAKERボタンを2秒以上押す。
スピーカーからの音を消す	SPEAKERボタンを短く押す。

付属のイヤーレシーバーで聞くときは

リモコンの∩ジャックにイヤーレシーバーをしっかり差し込み、本体の音量つまみを7分目程度に合わせます。音量は、リモコンの音量つまみで調節してください。本体にリモコンをつなぐと、スピーカーからの音は自動的に出なくなります。

ご注意
スピーカーで再生中でも、一度リモコンをイヤホンジャックから抜いてしまうと、再び差し込んだときにはスピーカーから音が出なくなります。そのときは、SPEAKERボタンを2秒以上押し続けてください。

▶電源

電源について

乾電池を交換する時期

電池が消耗すると、電池交換お知らせ表示が点灯します。
録音ランプが暗くなり、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりしますので、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。
乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

表示	▮▮▮ →	▮▮ →	▮ →	⧄
意味	残量は充分です。	残量が少なくなってきました。	電池が消耗しています。しばらくすると、本体の動作が止まります。	

ご注意
- 電池を交換した後は、一度動作させるまで⧄、▮▮▮などの表示は出ません。
- 早送り(キュー)/巻き戻し(レビュー)中に電池交換表示⧄が点灯することがありますが、正常に動かないときのみ、電池を交換してください。
- ⧄ランプが点灯しても、しばらくはテープが正常に動きますが、内蔵スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- テープの動きはじめやテープの終わりで、電池交換表示⧄が瞬間的に点灯することがあります。表示がすぐに消えた場合は、乾電池を交換する必要がありません。

乾電池の持続時間

使用電池	録音時(JEITA*)	再生時(JEITA)	DPC再生時**
ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)使用時	約12時間	約10時間	約6.5時間
ソニーマンガン乾電池R6P(SR)使用時	約3時間	約2時間	約1.5時間

* JEITA(電子情報技術産業協会)の規格による測定値です。(ソニーHFシリーズカセットテープ使用、音量7分目程度でミュージックテープを再生した場合。)
** DPCスイッチが「オート」で、スピードコントロールつまみを速い側に回しきった場合。

ご注意
電池の持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

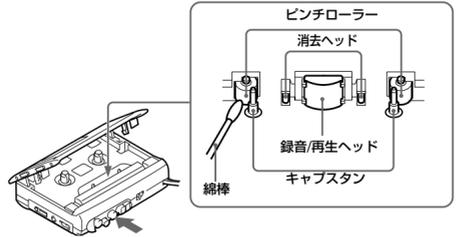
1 ACパワーアダプターAC-E30L(別売り)を本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意
- この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30L(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

▶その他

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングキット(KK-41)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな？

修理に出す前にもう一度お調べください。ご不明な点があるときはテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

症状	原因/処置
カセットが入らない。 カセットぶたが閉まらない。	• カセットの向きが正しくない。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。→ 向きを確認して入れなおす。 • 乾電池が消耗している。→ 2本とも新しいものと交換する。 • ACパワーアダプターが正しく接続されていない。 • 電源に差し込んでいないACパワーアダプターやカーバッテリーコードを本体につないでいる。
リモコンのボタンを押しても動作しない。	• リモコンがHOLD(ホールド)状態になっている。→ HOLDスイッチを矢印と反対の方向へずらす。
録音できない。	• カセットが入っていない。 • カセットのツメが折れている。→ 録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。
録音が途中で止まる。	• VORが働いている。VORを使用しないときはスイッチを「切」にする。
前の音が完全には消えない。	• 消去ヘッドが汚れている。→ クリーニングする。 • ハイポジション、メタルのテープを使っている。
再生できない	• うら面の状態でテープが終わりまで巻き取られている。→ ◀反転▶スイッチをおもて面にする。
スピーカーから音が出ない。	• イヤーレシーバーが差し込まれている。 → イヤーレシーバーを抜くか、リモコンのSPEAKERボタンを2秒以上押す。 • 音量が最小になっている。
イヤーレシーバーから音が出ない。	• リモコンの音量が最小になっている。 • 本体の音量が最小になっている。→ 7分目くらいにする。
音が小さい。 音質がよくない。 雑音が入る。	• 音量が絞られている。 • 乾電池が消耗している。→ 2本とも新しいものと交換する。 • 録音/再生ヘッドが汚れている。→ クリーニングする。 • ピッチを調節すると、多少音質が変わります(うなりが聞こえたり、エコーがかかったように聞こえるなど)が、故障ではありません。 • カセットテープをスピーカーの上に直接置いたため、テープが磁化されて音質が劣化した。 • ハイポジション、メタルのテープを使っている。
音が不安定で急に音程が狂う。	• 乾電池が消耗している。→ 2本とも新しいものと交換する。 • キャプスタンやピンチローラーが汚れている。 → クリーニングする。
再生速度が速すぎたり遅すぎたりする。 再生音がおかしい。	• 録音時間スイッチの位置が、録音時と違う位置にある。→ 反対側に切り換える。 • DPCスイッチが「オート」または「マニュアル」で、スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。 • 乾電池が消耗している。→ 2本とも新しいものと交換する。
スピードコントロールつまみを回してもスピードが変わらない。	• DPCスイッチが「切」になっている。
ピッチコントロールボタンを押してもピッチが変わらない。	• DPCスイッチが「切」または「オート」になっている。
リピート再生の音質がよくない。	• リピート部分はICに記録したものを再生しているので、音質は多少悪くなります。

使用上のご注意

録音について

- 録音には、必ずノーマルテープ(TYPE Ⅰ)をお使いください。(ハイポジション/メタルテープでは正しく録音できないことがあります。)
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使っての録音はできません。
- 内蔵マイクを強く押さないでください。マイクが変形し、雑音の原因となります。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中はスピーカーから音は出ません。付属のイヤーレシーバーで聞いてください。
- 録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、音量を上げすぎるとイヤーレシーバーの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります(ハウリング現象)。この場合は音量を下げてください。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると録音状態にできなくなるので、録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやイヤーレシーバーのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  －温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  －直射日光のあたる場所や暖房機器の近く。
  －窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  －風呂場など湿気の多いところ。
  －磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  －ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ(40℃以上)や低いところ(0℃以下)では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- 長時間テープについて
  90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
- エンドレスカセットテープについて
  エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。
- 付属のイヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、ソニーの相談窓口にご相談ください。

イヤーレシーバーについて

まわりの人のことを考えて
付属のイヤーレシーバーは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、イヤーレシーバーで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

トラック方式	コンパクトカセットモノラル
スピーカー	直径 36 mm
テープ速度	4.8 cm/s、2.4 cm/s のスピード切り換え (標準－ 2 倍モード切り換え)
周波数範囲(JEITA*)	TYPE Ⅰ(ノーマル)カセット 150 Hz〜6,300 Hz (録音時間スイッチ「標準」時)
入力端子	マイク(ミニジャック／プラグインパワー対応)(1) 最小入力レベル 0.12 mV インピーダンス 3 kΩ 以下のマイク用
出力端子	イヤホン(ミニジャック)(1) 負荷インピーダンス　8 Ω〜300 Ω のイヤホン用
実用最大出力(DC時)	スピーカー　250 mW(JEITA)
スピードコントロール可変範囲	約＋100%〜－50%(録音時間スイッチ「標準」時) 約＋100%〜－30%(録音時間スイッチ「2倍」時)
ピッチコントロール可変範囲	約＋1オクターブ〜－1オクターブ
電源	DC 3 V、単3形乾電池2本使用
最大外形寸法	約 86.7 mm × 112.8 mm × 35.7 mm(幅/高さ/奥行き) 最大突起部含む
質量	本体 約 200 g ご使用時 約 280 g(マンガン乾電池2本、カセットテープHF60を含む)
付属品	・イヤーレシーバー(1) ・ソニーマンガン乾電池 (単3形)R6P(SR)(2)お試し用** ・リモコン(1) ・キャリングポーチ(1) ・取扱説明書・保証書(1) ・ソニーご相談窓口のご案内(1)
別売りアクセサリー	ACパワーアダプター AC-E30L(極性統一形プラグ・JEITA 規格) エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-T15 カーバッテリーコード DCC-E230 接続コード RK-G64 クリーニングキット KK-41 クリーニングカセット CHK-1W/C-1KW

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
** 付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511
修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1